

2021年12月24日



# プレスリリース



## 「公益信託 福島銀行ふるさと自然環境基金」 助成先決定のお知らせ

「公益信託 福島銀行ふるさと自然環境基金」運営委員会は、2021年度の助成先に下記の4団体を選出いたしましたので、お知らせします。

当基金は、福島県における自然環境の保全を図り、自然と人間の調和のとれた社会づくりに資することを目的として1992年に設立され、以来今回で30回目の助成となり、助成先は81先、助成総額は1,882万円に達しております。

なお、今年度の贈呈式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止といたします。

### 1. 助成先

書面表決により選考委員会を開催し、厳正なる審査の結果、2021年度は次の4団体へ計100万円を贈呈いたします。

団体名・代表者・地域	助成事業・事業内容	助成金額
本木・早稲谷 堰と里山を守る会 会長 遠藤 義一 (喜多方市)	<事業名> 喜多方市山都町本木・早稲谷地区の昆虫図鑑作成・配布事業 <事業内容> 地域に生息する主要な昆虫の図鑑(ハンドブック)を作成し、地域住民・山都小中学生・ボランティアに配布	28万円
はげっ子倶楽部 代表 新妻 香織 (相馬市)	<事業名> 相馬市松川浦大洲海岸の自然保護区域に看板を設置する事業 <事業内容> 自然保護区域の地図・自然保護区のできた経緯・生息生物などを紹介する案内看板の設置およびチラシの作成	30万円
福島生き物探検隊 代表 貝津 好孝 (伊達市)	<事業名> 伊達市レッドデータブック作成のための生物調査 <事業内容> 伊達市の生物調査を行い、小中学生を対象に観察会を実施	22万円
只見の自然に学ぶ会 代表 新国 勇 (只見町)	<事業名> 『福島県只見川水系に自生する絶滅危惧種ユビソヤナギの現況報告』刊行事業 <事業内容> 最新の分布図や自生写真を掲載し、生物多様性豊かな河川環境の維持と保全に役立てる	20万円

### 2. 贈呈式について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度の贈呈式は中止といたします。

以上